

継続教育（CPD）ガイドブック別冊 - 自己登録時における記載内容について

継続教育記録は、技術者としてのご自身の学びの履歴を第三者に説明するものです。

自己登録する内容は、あなたの学ばれた内容を第三者が確認・理解できるような記述とする必要があります。そのため登録内容が不明瞭、不十分である場合は証明の対象といたしかねる場合がございます。

以下では確認しやすい形での教育記録の自己登録方法を解説しております。

自己登録される際の参考としてご利用ください。

なお、本書の記載は随時変更しますので、常に最新版の状況をご確認いただきますようお願いいたします。

I-1. 講習会等 への参加（認定プログラム）、e-ラーニングの履修（土木学会認定）

主催者名	講習会等：プログラムの主催者名を入力してください。 e-ラーニング：認定 e-ラーニングの記述を参照してください。 http://committees.jsce.or.jp/opcet/01e-learning
タイトル	土木学会認定 CPD プログラムの場合 「土木学会認定番号 + プログラム名」と記載してください。 建設系 CPD 協議会構成団体が認定したプログラムの場合 「認定団体名（略称可） + 認定番号（あれば） + プログラム名」と記載してください。 認定 e-ラーニングの場合 認定 e-ラーニングの記述を参照してください。 http://committees.jsce.or.jp/opcet/01e-learning 注意事項 プログラム名の前に認定番号の記載がない場合には、継続教育記録証明の際に登録区分を【I-2】講習会等 への参加（認定プログラム以外）に変更する場合があります。
教育内容	第三者にプログラムの内容を説明できるよう、プログラムの目標、教育内容を簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合や記載内容が抽象的で具体的内容が確認できない場合は、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	プログラムの開始日を入力してください。
日付（終了）	プログラムの終了日を入力してください。 (一日のみの開催の場合は省略可)
実時間	各団体で認定された単位数を入力してください。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	教育内容に記載しきれない内容を自由に記載いただけます。

I-2. 講習会等 への参加（認定プログラム以外）

主催者名	プログラムの主催者名を入力してください。 (プログラム認定団体ではありません)
タイトル	行事等のタイトルを記載してください。
教育内容	第三者にプログラムの内容を説明できるよう、プログラムの目標、教育内容を簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	プログラムの開始日を入力してください。
日付（終了）	プログラムの終了日を入力してください。 (一日のみの開催の場合は省略可)
実時間	各団体で認定された単位数を入力してください。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	教育内容に記載しきれない内容を自由に記載いただけます。

II-3. 論文等の口頭発表（法人格を持つ学協会での発表）

II-4. 論文等の口頭発表（前記以外での発表）

主催者名	主催団体・発表行事名を入力してください。
タイトル	「発表した論文のタイトル」を記載して下さい。
教育内容	第三者に内容を説明できるよう、内容を簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。 論文投稿に伴う口頭発表・講演が該当します。論文投稿を伴わない発表・講演、講師としての登壇は【IV-10】【IV-11】が該当します。
日付（開始）	掲載誌の発行日を入力して下さい。
日付（終了）	記入無し
実時間	実時間は、発表時間（単位：分）を入力して下さい。 発表時間には質疑時間を含みます。 単位計算式：II-3 $0.4 \times$ 発表時間（分） II-4 $0.2 \times$ 発表時間（分）
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	教育内容に記載しきれない内容を自由に記載いただけます。

II-5. 学術雑誌への査読付き論文等の掲載・発表**II-6. 査読のない一般論文、総説等の掲載・発表**

主催者名	掲載誌名・巻号 を入力してください。
タイトル	「論文タイトル」を記載して下さい。
教育内容	第三者に内容を説明できるよう、内容を簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	掲載誌の発行日を入力して下さい。 投稿・受理ではなく、掲載されたことをもって CPD の対象とします。
日付（終了）	記入無し
実時間	II-5 一論文につき執筆者合計で 40 を按分した値 II-6 一論文につき執筆者合計で 10 を按分した値
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	掲載誌に ISSN コードがあれば入力下さい。 また教育内容に記載しきれない内容を自由に記載いただけます。

II-7. 技術図書の執筆、技術・学術雑誌等への寄稿・掲載

主催者名	図書の場合は出版社名 雑誌の場合は、掲載誌名・巻号 を入力してください。
タイトル	図書の場合 「書名」を記載して下さい。 共著の場合は、「書名（分担章節）」と記載して下さい。 雑誌の場合 「記事タイトル」を記載して下さい。
教育内容	第三者に内容を説明できるよう図書あるいは記事の内容を簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	発行日を入力して下さい。
日付（終了）	記入無し
実時間	執筆に要した時間数を入力して下さい。（最大 30 時間） 同一の図書・雑誌原稿を複数件に渡って登録せず、一つの図書・雑誌原稿につき、一件を登録してください。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	図書の場合は ISBN コード、雑誌の場合は ISSN コードなど入力下さい。 また教育内容に記載しきれない内容を自由に記載いただけます。 図書の刊行日、雑誌等への掲載日をもって一件の登録とします。

III-8. 組織内研修プログラム受講

主催者名	主催者（部署まで）を入力して下さい。
タイトル	
教育内容	第三者に内容を説明できるよう、研修の内容を簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合は証明の対象外とします。
日付（開始）	プログラムの開始日を入力してください。
日付（終了）	プログラムの終了日を入力してください。 (一日のみの開催の場合は省略可)
実時間	挨拶・休憩を除く研修の実時間（単位：時間）を入力して下さい。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	

IV-10. 教育機関、学協会、官公庁、公共機関からの依頼で講師を務める／論文の査読を行う**IV-11. 教育機関、学協会、官公庁、公共機関以外からの依頼で講師を務める／論文の査読を行う****講師の場合**

主催者名	依頼元の団体名を入力してください。
タイトル	講演した行事の名称をご記入ください
教育内容	講演した演題およびその概要を記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	講演した日程を入力してください。
日付（終了）	講演を終えた日付を入力してください。
実時間	IV-10 10（単位） 時間にかかわらず、10単位となります。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	一つの講義で一件と見なします。

論文査読の場合

主催者名	査読依頼元の団体名を入力してください。
タイトル	登載される論文集のタイトルをご記入ください。 例) 土木学会論文集 D1 査読
教育内容	論文の分野、査読本数など、詳細が特定されない程度に内容を記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	査読依頼を受けた日程を入力してください。
日付（終了）	査読を終えた日付を入力してください。
実時間	IV-10 10（単位） 時間にかかわらず、10単位となります。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	論文一本あたり一件と見なします。

座長・パネリスト等の場合

主催者名	主催団体名を入力してください。
タイトル	座長・パネリスト等を務めた行事名またはセッション名および出演したポジション（座長、パネリスト等）を記載してください。 例) 第12回景観デザイン研究発表会 セッション D6 座長
教育内容	第三者に内容を説明できるよう、内容を簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	開催日を入力して下さい。
日付（終了）	記入無し
実時間	IV-10 10（単位） 時間にかかわらず、10単位となります。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	同じ行事で、座長・パネリストの他に講演等を行った場合は、一つの行事全体で一件と見なします。

V-12. 成果を上げた業務・研究等(責任者)

V-13. 成果を上げた業務・研究等(担当者)

主催者名	表彰を与えた組織・団体名を記載して下さい。 （官公庁または公共機関に限ります）
タイトル	「表彰件名（表彰区分）」として記載して下さい。 表彰件名には、表彰の対象となった具体的な業務件名・研究（論文）タイトルを記述して下さい。 ※表彰区分 ・局長表彰、事務所長表彰、優秀技術者表彰 等 以下の表彰は、成果を上げた業務・研究として見なしません。 ・安全表彰・功労者表彰
教育内容	第三者に説明できるよう、表彰された理由を簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	表彰日を入力してください。
日付（終了）	入力不要
実時間	V-12 20 V-13 10
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	教育内容に記載しきれない内容を自由に記載いただけます。 個人名の記載が無い表彰の場合は、その業務に従事していたことを証明する書類をご提出いただきます。

V-14. 特許取得（発明者に限る）

主催者名	特許を登録した機関名を記載してください。 (国内で特許を取得した場合は、「特許庁」)
タイトル	「特許番号+特許の名称」を入力してください。
教育内容	取得した技術の概要と、ご自身が関与した部分を、簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	特許登録日を入力してください。（出願日ではありません）
日付（終了）	入力不要
実時間	発明者が複数の場合には、貢献度に応じて 40.0 単位を適宜配分して下さい。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	特許の登録をもって継続教育（CPD）記録とします。 出願・審査中のものは継続教育（CPD）記録とみなしません。 一つのテーマに対して複数の特許を取得している場合は最初に「特許証」が交付された時点で計上して下さい。 この記載内容は、日本国内での特許を想定しています。 国際特許の場合は、国内特許に準じた内容で記載してください。

VI-15. 委員会、研究会への出席（議長や委員長の場合）**VI-16. 委員会、研究会への出席（委員や幹事の場合）**

主催者名	会合の主催者を記載して下さい。
タイトル	会合の名称を具体的に回数も含め記載して下さい。
教育内容	第三者に説明できるよう、会合の目的、議事概要を差し支えのない範囲で簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	会合の開催日を入力してください。 委員会・研究会への出席を記録する場合は、出席された回ごとに登録して下さい。 開催日時の異なる会合についてまとめて入力されているものは証明の対象外とする場合があります。
日付（終了）	連続した日程での開催を除き、入力不要です。
実時間	V-12 20 V-13 10
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	教育内容に記載しきれない内容を自由に記載いただけます。

VI-17. 災害調査団への参加

主催者名	調査団を編成した団体名を記載してください。 教育機関、学協会、官公庁、公共機関が派遣するものに限られます。
タイトル	調査団の名称（災害名がわかるもの）を記載してください。 命名災害でない場合は、通名で構いません。
教育内容	第三者に説明できるよう、調査の目的、調査概要を差し支えのない範囲で簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	調査団活動の開始日を入力してください。
日付（終了）	調査団活動の終了日を入力してください。 複数年度に渡る場合は、年度毎に分けて入力してください。
実時間	年間で、1つの災害において1件とします。 同一災害で複数回派遣されても1件と見なします。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	

VI-17.大学・研究機関等が行う研究開発への参加

主催者名	研究開発の中心となる組織名を記載してください。
タイトル	研究開発の件名を記載してください。
教育内容	第三者に説明できるよう、研究の目的、成果の概要を差し支えのない範囲で簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	参加の開始日を入力してください。
日付（終了）	参加の終了日を入力してください。 複数年度に渡る場合は、年度毎に分けて入力してください。
実時間	年間で、1つの案件において1件とします。 同一案件で複数回活動されても1件と見なします。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	委託による研究活動は業務と見なし対象外となります。

VI-17.国際機関への協力等

主催者名	協力先の機関名を記載してください。
タイトル	案件名を記載してください。
教育内容	第三者に説明できるよう、活動の目的、概要を差し支えのない範囲で簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、証明の対象外とする場合があります。
日付（開始）	参加の開始日を入力してください。
日付（終了）	参加の終了日を入力してください。 複数年度に渡る場合は、年度毎に分けて入力してください。
実時間	年間で、1つの案件において1件とします。 同一案件で複数回活動されても1件と見なします。
教育分野	継続教育（CPD）ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	委託による活動は業務と見なし対象外となります。

VI-18. 自己学習

(自身の学習の場合)

主催者名	「自己学習」と入力してください。
タイトル	具体的な学習内容が分かるようなタイトルを記入してください。 (「自己学習」「試験勉強」等、内容が分からない記載は証明対象外となります。) 読書学習(書籍)の場合は、書名を入力してください。 読書学習(雑誌)の場合は、雑誌名+巻号を入力してください。
教育内容	第三者に説明できるよう、学習内容を具体的かつ簡潔かつ具体的に記載してください。 注意事項 教育内容の記載がない場合、継続教育記録証明の際に証明の対象外とする場合があります。
日付(開始)	学習の開始日を入力してください。
日付(終了)	学習の終了日を入力してください。 (一日のみの開催の場合は省略可)
実時間	休憩を除いた学習の実時間を入力してください。
教育分野	継続教育(CPD)ガイドブックを参照し適切な分野を選択してください。
備考	教育内容に記載しきれない内容を自由に記載いただけます。 図書の場合はISBNコード、雑誌の場合はISSNコードなど入力下さい。 異なる学習内容をまとめて記述しないこと。 一つの学習内容につき一件ずつ登録してください。

自己学習において学習の開始日・終了日を長い期間(2017/4/1~2018/3/31など)で入力すると、ステータス・継続教育記録証明において、証明期間中の記録として計上できない場合があります。
継続教育の趣旨にも鑑み、定期的な教育記録として最低限、月単位で入力して下さい。